

会 議 録

1 会議名

板倉区地域協議会第2回産業建設部会

2 議題(公開・非公開の別)

・協議事項

自主的審議事項について(公開)

3 開催日時

平成28年9月26日(月) 午後6時～午後7時30分

4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者(傍聴人を除く)の氏名(敬称略)

・委員：古海誠一(産業建設部会座長)、福崎幸一委員、古川政繁委員、島田正美委員

・事務局：板倉区総合事務所 山中産業グループ長、嘉鳥地域振興班長(以下グループ長はG長と表記)

8 発言の内容(要旨)

【古海誠一座長】

・前回、1回目の8/22に上越市第五次観光振興計画の中で板倉区の観光の方向性について説明いただいた。これらについて今回、忌憚のない意見を言っていただきたい。方向づけをしていきたい。欠席は島田信繁委員、小林良一委員である。

【古川政繁委員】

・上越市の観光そのものが弱いと思う。地域も含めて何を目玉にしてどういうふうにもっていくか。何が弱いのか結局我々も行政にも頼らざるを得ない。核の部分が見

えてこないというのが実感である。観光公社を含めてやるということだがどんなふうに強化していくのか。

- ・もう少し目に見えるようなことにならないとだめだ。仕掛けてみながら進めたらどうか。

【福崎幸一委員】

- ・私の感想だが板倉は何も変わらないと思う。前回、光ヶ原の道路をメインにしてやるという話だが、話は出るが進まない。
- ・板倉の本当のこれだという目玉が少ない。
- ・区独自でもう少し目玉を作って年間通じて人を呼べるような、いい考えがあったら良いと思っている。

【島田正美委員】

- ・福崎委員と同様だが、小さい団体が小さなイベントをいっぱいやっている。そういう団体、イベントを結びつけるものがないか。寺野游雪まつり25回目だが、段々マンネリ化している。違うものがほしいが何があるか難しい。横のつながりのようなきちっとしたものがほしい。
- ・食にしてもいたくら亭、筒方地区のそば、寺野地区のいろりばたグループもあるが、何か一緒にやればとは思うが。

【福崎幸一委員】

- ・小さいイベントは、それなりにあるが全体がない。

【古海誠一座長】

- ・上越市第五次観光振興計画は、行政がつくったものか。

【山中産業グループ長】

- ・行政だけではなく、専門家が入った観光振興計画作成委員会の中で議論されてきた。

【古海誠一座長】

- ・5月頃、中嶋隆一さんと一緒におもてなしの会で、日本交通公社の会長に会って立教大学の観光マネジメントの学生を導入して糸魚川市と上越市で提言したいという話があり、市の産業観光部から入ってもらい打合せをした。大学の反応は、糸魚川市は全面的に協力するという一方、上越市は来ていただいてもかまわないというスタンスで「やる気」が伝わってこないということで、今回、上越市はやめるとの残念な結果になった。やっぱり相手に伝わらない。
- ・この5ヶ年計画が計画どおりにそのまま進行してもらえば問題ない。

【山中産業グループ長】

- ・市の観光施設は、水族館などの新規もあるが、それ以外は基本的に現状維持が多い。安塚のキューピットバレイも現状を維持するもの。廃止する施設もある。

【古川政繁委員】

- ・安塚の話が出たが、雪室を板倉へ持ってこられないか。

【山中産業グループ長】

- ・工業団地で雪のデータセンターをという話もあったが、民間からすると立地条件等から実現に至らなかった。雪の多い津南に行ったと思う。十日町、津南に比べると板倉は雪が少ない。

【古海誠一座長】

- ・観光の専門職は、市に置かないのか。

【山中産業グループ長】

- ・専門職としてはいない。土木技師など技術職は比較的固定的だが、課は異動する。

【古海誠一座長】

- ・変わる時は一斉に変わるので、住民も困る。

【山中産業グループ長】

- ・ゑしんの里記念館の施設自体をもう少しアピールしたい。あれだけの施設はなかなかない。板倉の人はあまり利用していないという実態がある。
- ・板倉ふれあいまつりをゑしんの里記念館でできないか、個人的に構想を持っている。例えば、池にオタマジャクシやメダカがいるので、子どもたちに体験させるとか、新たな発想も必要かと思う。まだどこにも話はしていない。
- ・光ヶ原については、過去に輝いていた時代があったので、板倉の観光となるとやっぱり光ヶ原なのかと思う。行政の職員が係わっているような施設も作って活動していた。その頃と比べれば当然今のレベルは落ちている。それでもなんとかしたいと思い、みかぶり亭のイベントをした。
- ・今年、光ヶ原高原に仮設トイレを設置した。できれば来年以降にも繋げたいと思っている。人数をカウントしており、利用者数など効果があると良い。

【古海誠一座長】

- ・光ヶ原を何とかしたいという思いがあって、区民であれば光ヶ原を何とか活かしたいという所がある。今現在、信越トレイルも中継地になっているが、あれではお金は落ちない。下の旧牧場の所もそば畑しかない。

【古川政繁委員】

- ・今年行ったみかぶり亭のそばは、結構繁盛したか。

【山中産業グループ長】

- ・そばは250杯出たと聞いている。グリーンパル光原荘のそうめんが落ちると思われたが、それほどでもなかった。

【古海誠一座長】

- ・ゑしんの里観光公社の売り上げが落ちなければいい。

【山中産業グループ長】

- ・相乗効果と考えている。

【古川政繁委員】

- ・ゑしんの里観光公社もいろいろ考えればいいと思う。

【山中産業グループ長】

- ・夏はそうめんがいいが、これからの時期は、温かいものも必要。

【福崎幸一委員】

- ・夏がメインとなってしまう。

【古海誠一座長】

- ・5月末から10月末までで期間が短くもったいない。

【古川政繁委員】

- ・春の連休に道を開けなくてはいけない。

【島田正美委員】

- ・板倉町の頃は連休までに開けていた。

【山中産業グループ長】

- ・県と協議しながらやっているが、単に除雪だけでなく道路が傷み、ガードレールなどもすぐには設置できない。今年は5月20日開通だったが例年5月下旬である。

【古川政繁委員】

- ・それだけ県も光ヶ原が輝いていないという見方だ。

【古海誠一座長】

- ・もっと夏場にイベントがあればいいが、例えばモトクロスのコースを作るとか、小布施の温泉の所のサマージャンプは行列作っている。発想の転換だ。湯沢温泉のゴンドラ上がると夏の間、厚めのシートを敷いて20m位水を流して滑るというような仕掛けを作らないと人は集まらない。イベントプラスそば屋さんで相乗効果になるが、そ

ば屋さんだけではだめだ。

【福崎幸一委員】

・ 撤退して何年になるか。

【山中産業グループ長】

・ 平成18年に新井リゾートが撤退した。

【古海誠一座長】

・ 高原センターを活かす方法を考えないと。全然違ってくる。あそこを起点に遊びのゾーンを作っていくというのがいいと思う。財政難だが金のかかる話だ。耐用年数まだあるか。

【山中産業グループ長】

・ 高原センターはまだある。清里の山荘京ヶ岳も今年で廃止となる。来年以降は地元の皆さんが主体となって、活用するという方向で動いている。牧のアピール館も市としては休止しているが、地元がどうしても使いたいという話があってそれに向けて動いている。高原センターについても市としては休止したが、地元がやりますという話があればできる。

【古海誠一座長】

・ 第3セクターのふしんの里観光公社がやりますと言えばいい。資金的な援助は要らないと言い切れればできるか。

【山中産業グループ長】

・ 公社の財務状況からすれば難しい。清里の場合は全集落から出資を募ろうかという話もある。

【古海誠一座長】

・ 大島区のあさひ荘の二の舞でないか。

【山中産業グループ長】

・ 清里は温浴施設はやらず、あくまで地元の集会施設として使うということである。

【古海誠一座長】

・ そういう使い方か。

【古川政繁委員】

・ 集会をそこでやるのか。

【山中産業グループ長】

・ 老人会で使うとか町内会の総会などで、使いたいという話である。

【福崎幸一委員】

- ・坊ヶ池があつて景色は良い。

【古海誠一座長】

- ・維持管理費は地元負担か。

【山中産業グループ長】

- ・議論はそこまでしていないが、地元の熱意があれば市が維持管理するという方法もある。

【古海誠一座長】

- ・光ヶ原は天気が悪いと何も見えない。寒くてそうめんなんか食べる気がしない。
- ・市の観光の計画の中に光ヶ原が入っているが、補助金を入れてあるから入っているのか。光ヶ原で何をしようとするのかが見えない。

【山中産業グループ長】

- ・あくまで自然の景観を生かして自然を見ていただくことがメインになる。植林は、国の敷地で何年か前までやっていたが、当面は今の形になる。

【古海誠一座長】

- ・植林は失敗した。ぶなの木を切って杉の木を植えて景観がおかしくなった。

【島田正美委員】

- ・植林は一昨年ぐらいまでやっていた。

【福崎幸一委員】

- ・トレイルは年間どれくらい利用しているものか。

【山中産業グループ長】

- ・関田峠で去年のデータで3,400～3,500人、全体で3万3千人いるが、お金が落ちるものではない。
- ・今、新規事業で考えているのがグリーンパル光原荘を活用しようということで、販売する棚とか写真コーナーを設置したいと考えている。公社のグッズも販売したい。グリーンパルを光ヶ原観光の拠点としたい。

【古海誠一座長】

- ・グリーンパル光原荘を拠点としてお土産、食、冷たい水を使つての活かし方。

【島田正美委員】

- ・宿泊者は自炊だが、自炊もあるが食堂もあるというような活用はできないか。

【山中産業グループ長】

・食堂はあるにはあるがお客さんが来ないので、通年営業できない。10月の土日は5人しか利用がなかった。

【福崎幸一委員】

・人が来なければどうにもならない。

【古海誠一座長】

・夏場の5月から7月には山菜がとれるので、山菜が食べられるようになれば人が集まる。

【島田正美委員】

・いわなの塩焼きでも出せば売れる。

【福崎幸一委員】

・針のジェラートも夏だけそこで出せばどうか。

【山中産業グループ長】

・グリーンパルの横にため池があるが、水が貯まらず利用できない。

【古海誠一座長】

・あれは何のため池か。

【山中産業グループ長】

・農業用のため池だが、予備のもので普段は使っていない。しかも水が抜けている。

【古海誠一座長】

・何となく池は危ない感じがする。人が落ちても支障ないように、もう少し浅くしてにじますでも飼ってつり掘りにするとか。水が溜まらないのか。

・そうめんの水は沢の水か。

【山中産業グループ長】

・沢の水を引っ張ったものを消毒して使っている。水利権のある地元にお金を払っている。

【古海誠一座長】

・水に使用料を払っているのか。

【山中産業グループ長】

・ただではない。

【古海誠一座長】

・関田か。

【山中産業グループ長】

・関田自治区です。

【島田正美委員】

・あそこは、ほとんど関田のものだ。

【山中産業グループ長】

・借地もある。

【島田正美委員】

・公社の株も持っている。

【古海誠一座長】

・光ヶ原のことで盛り上がっているが、自主的審議事項については光ヶ原高原の利活用を市に提案できるようにもっていくか。

【島田正美委員】

・公社も仲間に入れたいといけない。

【古海誠一座長】

・結局、行政と観光公社と住民組織の三者で一体にならないと前へ進まない。

・ゑしんの里観光公社で観光振興による組織づくりに取り組んだが、その中に我々産業建設部会も入れていただきますか。観光公社でできることと市の方へお願いすることを分けてということか。

【島田正美委員】

・たまたま理事に古海さんと私が理事に入っている。今年は2か月に1回程度会議をしている。去年はなにもなかった。

【古川政繁委員】

・役員が集まらなないと話ができない。昔はここからヘリコプターで光ヶ原へ飛んだことがある。

【島田正美委員】

・春先なんかまだ除雪してなくてもいい。

【古川政繁委員】

・上から見ると景色が違う。

【古海誠一座長】

・春先にまだ開通しないうちに上から見るとか。

・光ヶ原高原の再活用ということになると、ゑしんの里観光公社でどういうふうを考えているかが見えないと対応できない。

【古川政繁委員】

- ・現職の頃、和歌山と交流会をやり、雪堀体験をやった。雪なんて見たことがないので喜ぶ人はいる。餅つきもした。いまだにそのつながりが続いている。こっちからも和歌山へ行ったりした。学生でもいいと思う。いろいろ仕掛けないとだめだ。

【古海誠一座長】

- ・我々がこんなものと思っても外から見ると魅力ある。

【福崎幸一委員】

- ・そこらじゅうで稲刈り体験やっている。

【古海誠一座長】

- ・一番典型的なのが、田植えとか稲刈りでわざわざ鎌で刈らなくてもいいのに。

【島田正美委員】

- ・田植えもどろんこになっている。

【古川政繁委員】

- ・それがまた喜ぶ。

【古海誠一座長】

- ・今年板倉で稲刈り体験あるか。

【山中産業グループ長】

- ・越後田舎体験として、北折さん、長嶺さんが今年から取り組んでいる。最近、やすらぎ荘の向いの大淵さんが入った。これが定着してくれればと思う。

【古川政繁委員】

- ・穂海さんもやっていたが今年はしなかった。子ども含めて20～30人来る。収穫して米をやる。

【山中産業グループ長】

- ・穂海さんは、稲刈り時期は、忙しくてやってられないのだろう。

【古川政繁委員】

- ・郷土料理ののっぺ作りに妻が頼まれた。

【島田正美委員】

- ・地元の人負担になってはいけない。ある程度は仕方ないが、またしてもとなると嫌になる。

【福崎幸一委員】

- ・松代・十日町はよくやっている。

【山中産業グループ長】

・近くだと清里区はよくやっている。板倉区では、中山間地域農業振興会が、そば刈りツアーを計画している。

【島田正美委員】

・やすらぎ荘ができて何年ぐらいだったかグリーンツーリズムまではいかなかったが、稲刈り体験やったこともある。来てもらった人は喜ぶ。側の取り巻きが大変だ。

【古川政繁委員】

・柄山のそばもいい。

【島田正美委員】

・あれは直接支払いの管理でやっている。

【古川政繁委員】

・500円で割に合わないかもしれないが、ああいう行事がいくつかあるわけだから何とか考えられないか。

【福崎幸一委員】

・話は少しそれるが、柏崎の原発の近くに椎谷という集落がある。5月から10月までお客でいっぱい。みんなインターネットで調べてくる。別に遊ぶ所もないが、海水浴場は近くにある。後はバーベキューハウスがあるぐらい。8月などは満杯だ。

【古海誠一座長】

・そういう海岸に近い所は良い。地域協議会の視察予定だった妙高市の大洞原の所もいつも満杯だ。別荘代わりに使っている。

・光ヶ原だけでなく光ヶ原とセットでお客さん呼び込むというのも考えないといけない。

・最初の話のふししの里記念館を皆さん知らないということは、その魅力がPRされていない。

【島田正美委員】

・理事長の話では入場者が年間1万2千人ということだが、ほとんど本願寺絡みで来るお客が多いだけで、一般の人は何人もいない。

【古海誠一座長】

・赤倉へ泊ってどこか行く時にトイレ休憩で寄る客もカウントに入っている。入ったのは間違いない。トイレだけは素晴らしい。売り上げで160万だ。利益でなく売上で。

【島田正美委員】

・我々も観光地に行って珍しい物があれば、売店で買ってしまおう。そういう物があれば良い。

【古海誠一座長】

・恵信尼の関連の物しかない。入っても気がつかない人もいると思う。五輪の塔は壁を隔てて全然見えない所にある。なんかもったいない。

【福崎幸一委員】

・なんか立ち寄りにくい建物である。

【古川政繁委員】

・宗教絡みになるからどうしても。

【古海誠一座長】

・五輪の塔は見えてはいけないのか。

【山中産業グループ長】

・政教分離の原則があり、区分けは必要です。

【古海誠一座長】

・壁1枚あればいいというのなら透明なガラス板でもいいじゃないかと思うが、それも駄目か。

【山中産業グループ長】

・昔はそういう考えで作ったと思われる。

【古海誠一座長】

・折角あれだけの設備があって観光の拠点となっているが、普通の人にはわからない。板倉のことを知っているのはしみず屋だけだ。

【山中産業グループ長】

・しみず屋さんに観光看板置けば効果はあると思う。

【古海誠一座長】

・宗教、宗教と言うが高田の寺町でも観光コース作って回るようになっている。別にいいと思うが。

【山中産業グループ長】

・市の施設にそれをつけるとうまくない。

【古海誠一座長】

・他ではお寺とか神社とか観光地化している。みんな市が運営してたりしている。

・もう一つ世界かんがい施設遺産上江用水路は10月2日に関川水系で見学会が予定さ

れている。10月5日に板倉おもてなしの会で案内する。大勢エントリーしてくる。

【福崎幸一委員】

・板倉のどの辺を見るのか。

【古海誠一座長】

・最初は妙高市の川上の鳥坂発電所を見て、板倉区内は山越の発電所の所で説明して、福王寺集落を見て、別所川の田屋、上江用水を作った功労者の清水又左衛門の地藏さんの高野、中江用水作った小栗美作の石像を見るというコースだ。

【古川政繁委員】

・これからの観光としてはいいと思う。

【古海誠一座長】

・昨日、一昨日と能登に行ったが千枚田が世界農業遺産になっている。上江用水のどこかに説明書きの看板がほしい。

【山中産業グループ長】

・看板は6つくらい設置するという話を聞いている。板倉にも置く計画であり、記念館に置きたいと相談があった。しかし、そこには上江用水はない。

【古海誠一座長】

・交通の便が良く上江用水の近くが良いが、何で記念館なのか。

【山中産業グループ長】

・設置は、関川水系と県が考えている。

・市の観光サイドからすると、上江用水は、歴史・文化はあるが本当に観光施設になるのか疑問の所もある。一般の人から見たら、どこにでもある農業施設である。

【古海誠一座長】

・言葉で歴史・文化を話しても何となく目で訴えるものがないと観光地としては難しい。安全を考えてどこを見てもらったらいいか考えている。

【山中産業グループ長】

・石造りの水管橋が500mくらいあればいいが、妙高にあるものは10mくらいだ。

【古海誠一座長】

・板倉の人も針くらいになると上江用水がどこにあるか知らないのではないかと。

【島田正美委員】

・中江用水は町内に流れているから知っているが、上江用水は知らないと思う。

【古海誠一座長】

・上江用水は世界遺産だから売り出さないわけにはいかない。板倉は山間部と平野部が混在しているので、ちょうどいいと思う。

【福崎幸一委員】

・写真で見たらレンガの石積みの所があったが、どこかわからない。

【島田正美委員】

・妙高市の川上の所だ。

【古海誠一座長】

・関川水系と県で主導権握っている。市には何もない。郷土史愛好会で板倉区内の所に通っている上江用水の昔の絵図面を再現してパネルを10万円くらいで作るが、最初、関川水系で出す予定が県の振興局の主管となった。板倉ふれあいまつりで展示する予定だ。何か地元が中に入れない。

・板倉あげて再復興を目指そうという形になるのか。行政とゑしんの里観光公社と住民組織で取り組まないと進まない。

・まず組織をどうするかどういふ人が係わるか。

・行政としてはいかに地域が盛り上がるかという視点も大事だ。

・光ヶ原の振興策を取り組むことにより1.5車線のPRにもなる。

・部会のテーマとしては「光ヶ原観光」とし、ゑしんの里観光公社と産業建設部会で光ヶ原高原の利活用について協議する。

9 問合せ先

板倉区総合事務所総務・地域振興グループ TEL0255-78-2141 (内線 123)

E-mail : itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

会議資料はありません。